

4 資料

4.1 プレFD(PFFP・NFP)アンケート

(1)大学教員準備プログラム(PFFP)

1. プログラム(東北大学 PFFP)全体について(N=26)

	とても良かった	良かった	あまり良くなかった	全く良くなかった
開催時期	58%	27%	15%	0%
1週間の集中講義形式	73%	23%	4%	0%
1回の学習時間	65%	35%	0%	0%
課題の量	58%	42%	0%	0%
プログラム全体	100%	0%	0%	0%
欠席時の対応	77%	23%	0%	0%
わからないことがあった時の対応	88%	12%	0%	0%

2. プログラム全体についてご意見がありましたら教えてください。

- ・講師の先生からご指導頂く内容が大変分かりやすく、すぐに実践的に活用できると思えた内容ばかりであった。
- ・該当しない項目もあるため、対象外などの項目が欲しい。
- ・同意書を提出しなくてはいけないのが大変だった。
- ・時期について:ほかの方もそうかと思いますが、学年末の課題や、学会の準備などと重なり、大変でした。
- ・欠席について:欠席不可だと思い、やるべき仕事があったのですがそちらを諦めて参加しました。事前に相談すればよかったのだ、とあとで気づきました。
- ・1月下旬で色々切も迫る時期だったので、この時期が良いかは不明ですが、本当に学びたい内容なので頑張って参加しました。非常勤講師のお仕事を今年度の秋学期からいただき、全て自分で組み立てるといふ大学講義のシステムに困惑している中、その背景からどのように講義を組み立て、講義を行い、どのように評価すればよいのか学ぶことができ、本当に良かったです。いつ非常勤のお仕事がいただけるのか(いつどんなチャンスが来るか)は、誰にも読めないで、全ての博士学生の履修必須の講義にしてほしいぐらいです。
- ・事情により一部を欠席せざるを得なかったのですが、参加させていただいたことを嬉しく思っています。また、代替課題も無理のないもので大変助かりました。
- ・どんな時期になったとしても、この講義を最後まで受講できてとても良かったです。また、博士論文最終審査等のために、代替案でご対応いただきましてありがとうございます。
- ・時期は丁度良かったと思います。結局はいつでも時間を作って参加するところが大切なので、時期は相当だと思います。とはいっても、最終審査などによる欠席の代替対応などありがとうございました。
- ・ちょうどよい分量に感じました。おそらくかなり取舍選択にご苦労されたのだろうかと存じました。一日目の午後(集中力が切れてきたころ)に教わった内容をかなり忘れていたことに最終日気づきましたが、それは他のかたがたも同じだったのがアンケート調査で分かり、それも含めて勉強になりました。
- ・とても充実していて、満足度の高いプログラムと感じました。
- ・資料も大変わかりやすく、学習を進める中でとても役立ちました。
- ・開催時期はこの時期だといつでも難しいと思っています。一般的に3月だと新年度が近く、2月だと学内発表(卒研、中間、修士博士)で、12月1月は発表準備が忙しいので。今回は自分の方に少々トラブルがあり、対面までの1週間でシラバス作成や模擬授業の方に割ける時間が少なくなってしまいました。では2週間あれば十分だったかと言うと、それだと授業内容を忘れやすく、各項目を模擬授業に反映しにくくなるかと思うので、やはり今の時期や日時がベストかと感じました。
- ・博士後期2年で、修論や博論といった大きな制約がなかったため、参加しやすかった。
- ・全く教育系の授業を受けたことがない身からすると、4日間での詰め込み式はかなり厳しかった。特に前半二日間のリモート講義では後半ついていけなかったように感じているので、もう少し日数を取ってもいいからペースダウンして教えていただいてもいいかもしれないと感じた。
- ・個人の問題ですが、繁忙期のこの時期ではなく、夏頃だと参加しやすいと思います。他大学から参加する者にとって集中講義方式は参加しやすいです。ただ、土曜日が含まれると社会人は参加しやすいと思います。特に遠方から参加の場合、プラス1日は移動日が必要となりますから。課題の量が実際に多いかどうかはわかりませんが、個人的に業務の繁忙期、育児をしながら、課題をこなすのはとても大変でした。その分終了時には達成感がありました。立派な修了証明書もそんな気持ちを更に高めてくれました。プログラム構成や内容もきめ細やかなサポート体制も整っており、大変有意義なプログラムでした。
- ・欠席時の対応は欠席していないので実際の感想はわかりません。なので可もなく不可もない評価としました。
- ・開催時期はできれば雪の時期を避けて頂きたいというのが、雪国から参加する者の正直な思いです。出発の時まで天候を気にし、参加できるのか不安でした。
- ・課題の量は多いです。多いけど必要だと思います。やり切った時の達成感も入れて、アンビバレントな思いで「よかった」としました。
- ・内容が多いので、オンライン授業をもう一日増やしても良かったと思いました。

3. プログラムの内容について

	とても良かった	良かった	あまり良くなかった	全く良くなかった
学習目標が明確に設定されていた	96%	4%	0%	0%
プログラムの内容はよく整理、計画されていた	92%	8%	0%	0%
コースの学習量は適切だった	69%	27%	4%	0%
実際に大学教員になった時に役立つと思う	92%	8%	0%	0%
研究室や知り合いの大学院生にも勧めたいプログラムだった	96%	4%	0%	0%

4. 3で「あまり良くなかった」「全くよくなかった」と回答した方は、その理由を教えてください。

・先ほども述べたように、私にとっては開催期間内では情報量が多かった。だが、全てとても勉強になったことは事実なので、量を変えずに期間を1-2日増やしてもらえたら嬉しい。

5. 東北大学 PFFP(大学教員準備プログラム)で、もっとも役に立った授業は何ですか？(3つまでの複数回答可)

質問項目	回答人数
1日目午前:イントロダクション、大学・高等教育の現在	6人
1日目午後:学生理解・教授法・授業設計論・評価①	12人
2日目午前:評価②・(ルーブリックの作成)	7人
2日目午後:シラバスとクラスデザインの作成	10人
3日目午前:シラバスとクラスデザインの共有・検討	12人
3日目午後:模擬授業①	17人
4日目午前:模擬授業②	10人
4日目午後:模擬授業のふりかえり・アカデミックキャリア・まとめ	10人

6. 5で選んだ理由をお書きください。

- ・どれも良かったので、特によかったものを選出させて頂きました。やはり2日目で作成したシラバスとクラスデザインシートを対面で他の受講生の方と意見交換しつつ、それに戸村先生からアドバイスを頂けたことが良かったからです。
- ・自分の授業に対する他の人のフィードバックを生で受けられる機会は非情に新鮮だった。また、座学でこれまで知らなかったことを知れたため。
- ・実践的に学ぶことができ、自分の身についたと思います
- ・4日間の講義は全て必要という前提で選んでいます。ただ、3つを選んだ理由は今の自分が知りたい内容が知れたという理由です。模擬授業で2日目を選んだ理由としては、1日目の模擬にお世話になった先生は、先生のご経験から来る知識やご意見で1つの理想を示されているイメージでした(恐らく我々が示されている模擬授業の前提もご存じないのではないかと感じました)。ただ、講義として1つの理想を示されるのは大切ですが、ルーブリックがあるように、新米教員の講義レベルの発展も数段階に分けて良いのではないかと思います。初めての教員は、1回の講義をするのが精いっぱいなので、そこで理想だけを示されると、本当に初めて教壇に立つ状況では対応できないと思います。最初に教壇に立つその日をイメージした助言などもあれば嬉しいと思いました。それに対し、2日目にお世話になった先生は、個々の学生の専門や講義の設定に合わせて、様々な引き出し(状況に合わせた事例や対応)を教えて下さり、1日目のモヤモヤを解決できる助言をいただけ、さらに勉強になりました。
- ・実際にはプログラム全てがためになったと思っています。やはり授業をするという実践に関わる講義や演習は先生の適切なご指導もあり、大きな学びを得ることができたと感じています。
- ・模擬授業を録画し、自分で見返すなかで、姿勢が悪かったり一方向しか見ていなかったりといったそれまで意識していなかったクセに気づくことができたため。
- ・実戦で使用できるスキルと、なかなか聞くことの出来ない貴重なお話を教授いただけたからです。
- ・作成の難しいシラバスやクラスデザインの検討をできた事、さらに授業を作ることも色々考えると、なかなか難しくやりがいがあったからです。
- ・アカデミックキャリアを歩む上で必須だと思ったから。
- ・シラバスを初めて作成したので、その方法や注意点について教えていただけて勉強になりました。
- ・これまで、学生として、あるいはTAとして、いわば半分学生の立場で大学生活を送ってきました。そのため、大学の授業に関する規則や流れについてある程度理解してはいたものの、その視点は限られたものでした。今回、教員の立場から改めて教育を学び、理解する機会を得られたことは、私にとって非常に貴重であり、大きな意味を持つものです。初めての模擬授業では、皆まだごちなさが残るものの、専門ごとの授業の進め方や異なる教育スタイルを直接見ることができ、大きな驚きと気づきを得ました。とても参考になる経験でした。

教育には共通する部分があり、2 回目の模擬授業では全員が大きく成長していましたが、それでも 1 回目の模擬授業で受けた衝撃のほうがより印象に残っています。

- ・すべてよかったので迷いましたが、やはり実践ありきなところはありましたし、他の参加者の方々と切磋琢磨できたことによる学びが大きかったです。
- ・大学・高等教育の現在を学びたいと思っていたことと、その歴史の変遷とともに詳しく知ることができたからです。
- ・大学教員力ともいえる、学生理解・教授法・授業設計論を学びたいと思っていたことと、受講を通して、より詳しく学ぶことができたからです。
- ・シラバスとクラスデザインの作成手法を学びたいと思っていたことと、実際に作成してみたことにより、担当科目を深く広く理解することの必要性和何を伝えるべきか(教えるべきか)を改めて考えることができたからです。
- ・以上に加え、模擬授業をあげたいと思います。ビデオで自身の授業を振り返ることで、5で選んだ内容がきちんと身につけて実践できていたかを確認することができ、大変勉強になりました。
- ・全ての項目で有意義な学びがあったのですが、新しく得た知識として自分のキャリアプランへの影響の比重が大きいの点を選択しました。
- ・理論的な知識をいくら勉強しても、実践しないと身につけるとは言えないです。そして、他人からの意見やアドバイスは、ほとんど自分が気づかなかった点ですので、すごく勉強になりました。
- ・1 日目午後は、一般的な知識を知ることができたため、自分に足りていない理解を補うことができたと思っている。3日目は、受講者同士で議論し合えたことで、シラバス、クラスデザインシート、模擬授業の良い点、直した方がよい点を知り、自分を省みることができたと思う。また、選択肢制限があったため、チェックを入れなかったが、4 日目午後の、模擬授業をペアで振り返る時間は、全体では言いにくいことなどを素直に議論できたため、とても有意義な時間だったと思う。
- ・今後、公募等で必要とされるスキルですので、その向上に非常に役立つと感じました。
- ・いろんな分野のメンバーと意見交換できたことが、普段できないことだったのですごく良い経験になった。
- ・より実践的に必要な知識スキルを学べた。また他の方の模擬授業をみたり、意見をもらえるのは非常に貴重だったから。
- ・5の項目すべてが、大変役に立つ内容で3つ選択することが難しく感じるほどでした。しかしながら、大学・高等教育の歴史と現状から学ぶことは非常に多く今後の大学教員のあるべき姿勢と立ち向かうべき課題が明確となりました。その点をふまえた学生理解、教授法、授業設計論は、その後続いたシラバスとクラスデザインの作成や模擬授業を行う上での考慮すべき要素として大変役に立ちました。これらの点をふまえて選択をさせていただきました。
- ・知りたいと思っていたことであったり実際に使ってみようと思えた授業内容でした。
- ・シラバスとクラスデザインシートの検討は作成者の様々な思いや工夫が聞け、自分とは違う角度からの意見が聞けたことが学びになりました。
- ・とにかく座学→実践→議論がよかった。また、大学の先生にならなければ学んだことも最大限活かせないアカデミックキャリアについても教えていただけてよかった。
- ・今まであまり考えたことがありませんでしたが、時代や現在置かれている大学の状況を知ることは自分の将来を考える上でとても重要なことに気づきました。そのため、第一日目の大学・高等教育の現在を知ることはとても有意義でした。ルーブリックの授業では、自分で作ってみる他に、参加されている方と成績評価における考え方の違いを共有することが大きな学びになりました。模擬授業では、ボディランゲージや話し方、声の出し方、間の取り方などシラバスだけでは見ることのできない特徴がよく分かり、皆さんの個性を知るきっかけにもなりよかったです。
- ・本当は三つ以上を選びたいと思いました。他人を教育する立場になると尺度が必要で、それを四日間の授業を通して以下の内容について理解しました。人を教育するという深い学問であり、この学問の基本趣旨を理解しました。学術的なキーワードを理解し、疑問がある時の検索する方針を理解しました。一種の表現する技術であること、どの様に表現していくかそのについてイメージを付きました。

7. 東北大学 PFFP(大学教員準備プログラム)で、もっとも難しかった授業・大変だった授業は何ですか?(3つまでの複数回答可)

質問項目	回答人数
1 日目午前:イントロダクション、大学・高等教育の現在	1 人
1 日目午後:学生理解・教授法・授業設計論・評価①	9 人
2 日目午前:評価②・(ルーブリックの作成)	12 人
2 日目午後:シラバスとクラスデザインの作成	16 人
3 日目午前:シラバスとクラスデザインの共有・検討	3 人
3 日目午後:模擬授業①	12 人
4 日目午前:模擬授業②	5 人
4 日目午後:模擬授業のふりかえり・アカデミックキャリア・まとめ	2 人

8. 7 で選んだ理由をお書きください。

- ・1回実施した模擬授業を改良して、再び同じ内容を話す必要があったため。ただここでの大変さは自分自身にとって有益なものなので、難しかったですが、大変ためになるものでした。
- ・シラバスとクラスデザイン作成、模擬授業の準備が大変だったが良い機会だった。
- ・初めての経験だったので、手探りの作業となったから。

- 最後のテストは難しかったですが、良い学びになりました。これから、学生の期末レポートを採点するための良い心構えができました。
- すべての講義や演習を楽しくこなすことができました。まとめを選んだのは、最後の確認(テスト)で一部の解答が十分にできなかった自身の反省を込めたためです。
- ルーブリックを全く知らなかったため。
- 講義を受講して、実際にツール作成をしてみたら、色々考えることも多くとても難しかったからです。特に授業を行うことは、とても難しかったです。
- やはり作成する授業は難しかったです。授業も 10 分位ならと思っていましたが、実際にスライドを作り出すと難しく、考える事が沢山ありました。
- 初めての経験であったことと、より専門的だったから。
- 実際に作成したシラバスやクラスデザインシートについてグループで共有し、説明することが難しく感じました。作っている段階では気づけなかったことや、お互いの大学によってことなる価値観や考え方、環境の違いでシラバスが大きく異なったことなど、気づきの多い時間であった為選びました。また模擬授業の2回目の方が、1回目より難しく感じました。1回目の改善をと、思い挑みましたが、改善できたこともあればできなかった部分もあり、さらに新たな問題にも気づいたため、難しく感じました。
- 一回目の模擬授業は、かなり挑戦的な経験でした。まず、これまでの学生という立場から抜け出し、教員として授業を行うこと自体が容易ではありませんでした。
- 授業を組み立てる際には、想像以上に多くのことを考慮する必要がありました。たとえば、授業内容や進行のペース、大学 1 年生が興味を持ってくれるか、理解しやすいか、一方的な学術発表のようにならず、どのように双方向的な授業にするか。また、教員としての自信や適切なジェスチャーも重要な要素でした。
- しっかりとした授業を準備することの難しさを、改めて実感する貴重な経験となりました。
- 大事な話だと思いますが、理論的な話が多く、一回聞いただけではなかなか消化しきれない内容だったためです。とはいえ、折に触れて見返したいです。
- 評価・ルーブリックの作成: 目的の設定が難しかったため、大変だったと感じました。
- 自分の都合で作成に割ける時間が少なくなってしまったためです。シラバスとクラスデザインの作成はなんとか完了しましたが、模擬授業の授業資料の作成の方がほぼ時間を割けませんでした。発問を組み込む構成には一応なりましたが、オープン・クエスチョンとクローズド・クエスチョンの方への発展ができず、模擬授業①の後に変更して②までに間に合わせるのも難しかったです。
- ルーブリック、シラバス、クラスデザインの作成は、簡単にできるものではなくて、いろいろ考えなければいけませんので、すごく手間がかかりました。特にシラバスとクラスデザインを作成するとき、シラバスからクラスデザインまでという順番で完成するはずですが、クラスデザインを作成してみて、やはりシラバスにある部分を調整すべきだという考えがよく出てきました。結局、繰り返しながら作成していました。
- 1 日目午後の内容は、最後のテストで十分身についていないことが分かったため、時間帯などの問題もあるとは思いますが、覚えた方が良い知識が多かったように思う。
- 2 日目午後の内容は、単純に課題として大変だった。特に、一般教養科目と言われた時に、どんな内容が適切かを考えるのが、一番大変だったように思う。また、一般科目の授業をするとは思っていなかったため、どのように展開するのが良いかを考えるのも大変だった。
- 3 日目午後は、初回の模擬授業だったため、どんな反応があるか不安であり、精神的に一番大変な場面だったと思う。
- まだ実践経験が多くない部分でしたので、より良い評価。ルーブリックを作るためにはどのようにすればよいか時間をかけて熟考しました。
- 初めて聞くことばかりで理解が追いつかない部分もあった。
- 教育経験がないので、知識では学んだものの実践を想定するのが難しかったから。
- 第2日目の午後に至るまでの講義では、これまで大学教育を行う上で十分に理解していない部分がありました。講義で学んだ点をシラバスとクラスデザインに落とし込みながら作成することは、模擬シラバスとクラスデザインであっても非常に考えさせられましたので選択させていただきました。
- 全く未経験でイメージできず苦労しました。特に模擬授業は、やったことのないことをやってみせるのが難しく大変でした。
- 自分で 1 から作ったため、とても難しかった。例えば、教養科目ゆえに難易度を調整しなければいけない点や、考えてきた模擬授業が自分の想定した内容と高校卒業したての学生という点で。
- モデルの名前がたくさん出てきて、名前は覚えていても内容が頭に残っていないものがたくさんあります。4日間という短い期間なので詰め込み式になるのは仕方ないとは思いつつも、一つひとつのモデルの内容をもう少し深く理解したかったと思いました。
- シラバスとクラスデザインの作成がとても難しかったです。何をどこまで書くか、表現をどのように選ぶか、についてとても悩みました。

9. 費用についてお聞かせください。受講料(9,000 円)についてどう思いましたか？

質問項目	回答人数
このプログラムであれば、もっと高くても良い	13 人(50%)
このプログラムであれば、この金額が適切だ	13 人(50%)
このプログラムであれば、もっと安くするべきだ	0 人(0%)

10. プログラムに参加するにあたり、だれが費用を負担しましたか？

	本人の自己負担	本人の研究費	大学負担	指導教員や研究室の負担	費用が生じていない
受講料	62%	8%	27%	4%	0%
交通費	58%	12%	23%	0%	8%
宿泊費	38%	8%	27%	0%	27%
滞在費その他	92%	4%	4%	0%	0%

11. 費用についてご意見がありましたら、お聞かせください(よろしければ受講料の具体的な金額もお聞かせください)。

- ・大学によっては、負担しているところもある(D 大学)らしいので、他大学でそのような事例があると示して貰えると、自身の所属先に交渉しやすい。
- ・私の大学は費用を負担してくれるわけではないので、負担してもらえる大学の学生を羨ましく思った。
- ・適切にチェックを入れましたが安いと思います。ただ、学生の費用負担としては、これが限度だと思いました。
- ・特になし。交流会の参加費も破格だと感じたものの、もう少しだけ飲み物(量)があるとよかったです。
- ・費用については、もう少し高くても良いと思いました。
- ・講義の質の内容や会場の設営、デプロマの質を思うと格安だと思いました。
- ・このくらいが妥当だと思います。
- ・適切な値段であると思います。
- ・奨学金が支給されたため、個人的にはとくに何も思いませんでした。遠方で自費参加の方の感想をお伺いしたいです。
- ・今回の受講料の倍くらいでも良いのではないかと思います。
- ・自分が授業から得た知識の有用性を考えれば、もっと高くても良いと思います(一般的な公開講座の受講料は)。参加希望者も年々増えていますし。ただ、移動費が自己負担の場合(自分はほぼ京都から新幹線で往復 4 万くらいでした)は、貧乏学生の身からすると、受講費自体で万を超えると厳しいです。
- ・大変充実したプログラムで 9000 円というのは大変有り難いです。もっと高くても参加すると思いますが、交通費宿泊費があるのでそのままの金額だと助かります。
- ・自己研鑽のために必要な費用かと考えております。金額も適切と思いますので特に意見はありません。
- ・プログラムの内容から考えてとても安価であると感じました。仕事関係の研修では 1 日でも 2 万程度が相場でしたので。しかし交通費や宿泊費もかかるので、研修費が安価であるのは大変助かりました。
- ・趣味クラスが月四回で一万/月、普通の学会参加も 5000 円前後であること等を考えると、単純に計算して6万円以上の価値がある授業と思います。一方、在学生が多く参加することを考慮し、低くても 2 万 5 千円~は妥当かと思います。

12. このプログラムをどのように知りましたか？(いくつでもお選びください)

質問項目	回答人数
自分が所属している大学からの連絡・掲示	24 人
X 等の SNS	0 人
自分が個人で登録している大学イベント関係のメーリングリスト	0 人
その他	3 人

13. 12で「その他」を回答された方は、よろしければどのように知られたかを教えてください。

- ・阪大からの紹介。
- ・昨年度 PFFP を受講した知り合いからの紹介。
- ・東北大学の TF 研修を受講した際に知りました。

14. プログラムの運営面も含めて、その他ご自由にご意見をお聞かせください。

- ・貴重な機会を頂き、ありがとうございました。実は昨年度に既にプログラムのことを知っていたのですが、その時はスケジュールがあわず、今年度に参加させて頂きました。近く必要になる知識やスキルが数多くプログラムを通じてご指導下さり、今後の自分自身の教育活動を支える羅針盤になりました。ここでの学びを10年、20年と活かせるよう、頑張ります。東北大学に来ることができて良かったです。ありがとうございました！
- ・意欲的なみなさんと学ぶことができ、大変刺激を受けました。
- ・戸村先生の授業の進め方や、私たちへ伝える方法についても、よく分かり、4 日間頑張っについていこう！と、思えました。とても良い機会をありがとうございました。
- ・本当に勉強になりました。戸村先生をはじめとする先生方やスタッフの皆さまに心よりお礼申し上げます。もし、今後採用されれば、ご報告させていただきます。寒い日が続きますが、くれぐれもご自愛くださいませ。
- ・今回参加させていただけたことを、とても嬉しく思っています。比較的珍しい分野で研究をしていることもあり、普段は他分野の方とお

話す機会がなかなかありませんでした。しかし、このプログラムは分野問わず受け入れてくれているため、大変貴重な交流の機会を得ることもできました。また、プログラムの内容自体も充実していたと感じています。オンラインの2日間も(オンラインにもかかわらず)時間的な長さを感じませんでした。それも戸村先生の腕によるものだと気がつき、その授業展開の手法も学びになりました。対面の模擬授業も、受講者全員が協力的で楽しく行うことができました(最初はやや嫌悪感がありました)。自身の動画を見るという反省(修行)の場を嫌でも作ることの重要性も理解できました(2日目にはほとんど慣れていました)。模擬授業はグループでの実施でしたが、2日間同じグループになれなかった方のものにも参加してみたかったです。また、受講者同士の意見交換ももちろん役に立つのですが、実際にすでに何年も教壇に立っている先生方からあえて厳しい意見をいただいてもよかったのではないかと多少感じました(批判的に感想を述べるとしても、受講者同士ではその点についてはやはり遠慮しがちになってしまっていたように感じました。また今回ご教授いただいた先生方は物腰も柔らかく、厳しい意見をいただいてもそれが必要なのだとすぐに理解できそうであったため)。戸村先生をはじめ、ご指導いただいた先生方、スタッフのみなさまにお礼申し上げます。本来はこうした講義や演習は各大学院で行うべきだと感じています。それでも門戸を閉ざさずとなく多様な学生を受け入れてくださっているプログラムに心より感謝申し上げます。私の研究分野ではこのプログラムへの参加者は少ないと思いますが、博士課程の知り合いにはぜひおすすめしていこうと思っています。改めて充実したプログラムをありがとうございました。

・とても勉強になりました。ありがとうございました。

・他大学の学生さんと知りあえたことが良かったです。色々な研究内容や本講義を受講しようと思った動機、将来の進路などひとそれぞれでいろんなことがあるんだなと何う事もできたからです。

・この度は、とても学びの深い講義を受講する機会を与えてくれてありがとうございました。歯科臨床教育を考えるなかで、しっかりと教育を学ぶ貴重な機会でした。この4日間ですべてマスターしたとは、思っていません。これからもここで出会った仲間と共に、どの様に今後生かして、行っているのか、どんな勉強をはじめたのかなど共有して行きたいです。相談できる仲間を持たた事はとても大きな励みになりました。戸村先生、塚部様ありがとうございました。

・ありがとうございました。とても良い経験ができました。

・他分野の博士課程学生やすでにポスドクの方など様々なバックグラウンドを持った方々とお話することで自身の見分が広がり非常に学びの多い期間となりましたこととお礼申し上げます。本プログラムを通して、研究者と教育者どちらか一方ではなく、どちらも非常に大切であることを改めて考えるきっかけとなりました。

・このような貴重な機会をいただき、心から感謝しています。先生の授業はとても明快で丁寧に構成されており、論理の流れがスムーズでありながら、適度な緩急もあって非常に分かりやすかったです。オンラインでも対面でも、ディスカッションの場面では的確に導いてくださり、要点をしっかりとまとめてくださるので、学びをより深めることができました。また、先生だけでなく、グループの皆さんの真剣な姿勢や集中力にも大きな刺激を受けました。こうした学習環境の中で学べたことは、私にとって本当に貴重な経験です。先生や皆さんの熱意や優れた点に触れるたびに、自分自身を振り返る機会にもなり、多くのことを学ばせていただきました。皆さんの素晴らしいところをたくさん感じることができ、この密度の濃い学びの時間は、私の人生の中でも特別なものになったと実感しています。短い間でしたが、本当にありがとうございました。温かく迎えてくださり、一緒に学ぶことができたことに心から感謝しています。皆さんの今後のご活躍をお祈りしています。

・①とても楽しかったです。仙台では毎日懇親会や宴会や食事会にて、専門分野の全く異なる(物理、バイオ、宗教、音楽、スポーツ、IT、ジェンダー、救急、歯科、地震...)参加者同士、交流を深めることができ、大変貴重な機会でした。正直、ここまで楽しく学べるとは思っていませんでした。②以前より、自分が授業しているところの動画を撮ってみた方がいいと聞いてみました。しかし、恥ずかしくてやってきませんでした。ただ、今回、自分の授業風景を歯を食いしばって見返すことができ、この作業にいくらか慣れることができました(何度も見返していると、自分の姿にも慣れてきました)。今後も自分の授業風景を撮影し、授業をブラッシュアップしていきたいと思いました。③主担当の戸村先生だけでなく、模擬授業の際にゲストの講師の方々にもコメントいただき、勉強になりました。本当にありがとうございました。

・4日間、本当にありがとうございました。今回のプログラムで教えていただいたことをしっかりと復習し確実に身につけられるよう努めたいと思います。

・懇親会についてですが、食事が多すぎず、会話を誘発する丁度よい量かと思いました。時間はもう少し長くても良いのではないかと感じました。参加者全員と会話したいと思ったくらいなのですが、4割くらいしか会話できなかった。長くする場合は炭酸飲料等のペットボトルで用意されていた飲料を1.2倍くらいにすると丁度良いのではないかと思います。

・実践的な教授に関する内容で、とても勉強になりました。新たなことを知れたと同時に、様々な議論を重ねたことで、自分の授業に対する考え方も少し変わったように思います。

・非常に濃い4日間を過ごさせていただきました。中でも対面での2日間は全国の異なる分野の博士課程学生、ポスドクの方々と日夜様々なお話をすることができ大変勉強になりました。模擬授業やシラバスの作成は公募戦線を戦う自身の将来にとって必要不可欠なスキルですので、このような機会をいただけて大変感謝しております。今回のプログラムでの気づきと学びを糧に引き続き教育力の向上に取り組んでまいります。今後ともよろしく願いいたします。

・修了証明書やオープンバッジをもらえるというのは魅力的にうつりました。

・今回、所属大学からの情報によりプログラムに参加しました。大学教員として教育に携わるにあたり、何らかの基礎的な教養を身に付けておくべきと考えておりましたので大変教務深く、また有意義に研修を受けさせていただきました。座学では、グループワークを交えながら大学・高等教育の歴史と現況、学生理解・教授法・授業設計論を十分に学ぶことができ、今後も自己学習を進めることができるのではないかと感じました。また、シラバスとクラスデザインの作成、受講生による模擬授業は、非常に実践的で同じ受講生同士の建設的なフィードバックと活発な議論ができたことは、大変勉強になりました。対面でのプログラムでは、議論を交わさなかった方もわずかにありましたので、すべての方々から意見がいただけたらさらに新しい意見が聞けたのではないかと感じました。しかしながら、4日間のプログラムの中で期待していた以上の内容でプログラムを受けさせていただきましたこと大変感謝しております。ありがとうございました。

た。

- ・授業内容の資料(冊子など・購入でも良いので)があれば嬉しいです。
- ・以下のことを、課題や模擬授業、意見交換を通して、身をもって学習できて有意義なプログラムでした。「大学の歴史や意義、教授職に今後に求められることの学習」、「15種類の授業やシラバスの作り方と注意点の学習」、「模擬授業の実施と改善」、「教授職を目指す、さまざまなバックグラウンドを持った方とのコミュニケーション」、「教授職になるためには」。
- ・大学教員になるという夢を持っている方に、ぜひおすすめしたいです。ひとに教えるということは、単に自分の知識を話すだけではないということを、研究者は学ばなければならないと思います。そして、学生の分からないことをどこまで自分事として引き入れ、内省し、わかってもらおうとするのか、忍耐も必要なことを今回のFFPで学びました。そして何よりも、戸村先生をはじめプログラムに参加していたすべての人が優しく親切で、敬意を持って接してくださいました。4日間だけだとしてもFFP場所を主体的に作ろうとする皆さんの姿勢が良い雰囲気を作っていました。本当に楽しかったです。ありがとうございました。
- ・オンライン授業時間を実際の時間より少し長めの時間を設定してもいいと思いました。授業の内容を振り返り、もう一回内容を見たいと考えています。指導して頂いた先生方、調整して頂いたスタッフの方々、皆様にあらためて心より感謝致します。

* アンケート回答のうち、受講者の個人情報(特定できる箇所等)については、文言を修正して掲載しています。